

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第10回定例会（平成24年12月定例会）

第10回定例会（平成24年12月定例会）…	2	議会報告会の結果 ……………	11
一般質問（5人）……………	4	議会報告会の様子 ……………	12
第9回臨時会 ……………	9	編集後記 ……………	12
議会傍聴者アンケート集計表 ……………	10		

議会広報
平成25年2月
第6号



第10回定例会

平成24年12月定例会

12月定例会は、12月13日から18日までの6日間の会期で開催しました。

町長から、条例の一部改正1件、補正予算10件、人事案件1件、規約の変更等2件、議会から条例等の一部改正2件、意見書の提出2件の案件が提出されました。

議会提出案件

条例等の一部改正 2件

●五戸町議会委員会条例の一部改正

・地方自治法の改正により委員の選任等に関する項目を条例に追加。

●五戸町議会会議規則の一部改正

・地方自治法の改正により本会議においても公聴会の開催や参考人の招致ができることとなったため、規則に

追加。

審議の結果

全員賛成で原案のとおり可決

意見書の提出 2件

●「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書

●年金2・5%削減中止を求める意見書

審議の結果

全員賛成で原案のとおり可決

内閣総理大臣ほか関係省庁へ意見書を提出しました。

町長提出案件

条例の一部改正 1件

●五戸町職員の給与に関する条例の一部改正

・管理職手当を受ける職員が、選挙事務や災害対策等に従事した場合における時間外勤務手当を支給するための変更。

補正予算 10件

●一般会計補正予算(第5号) 予算総額

103億4123万1千円

・補正額

1億5212万4千円増額

主な増額

・倉石地域振興公社経営支

援費補助金

2000万円

・病院事業会計負担金

1億3168万9千円

・正場沢団地購入費

4310万5千円

・道路災害復旧工事費

2801万6千円

主な減額

・国民健康保険特別会計繰

入金

1845万5千円

・七崎地区用排水路工事費

1507万2千円

討論

倉石地域振興公社経営支援費

補助金2千万円に対して

【反対】川村 浩昭 議員



血税を一会社に補助という形ではなく、融資の形で貸付し、長いスパンでもいいので返済してもらおうようにしながら、企業努力をして運営するほうがいいと思うので、反対する。

【賛成】若宮 佳一 議員



倉石地域振興公社ができた当初からの意味合いも含めて考えると、リング農家の振興・雇用など旧倉石村の頃から、かなり意味のあったものと思う。

【賛成】根森 隆雄 議員



倉石地域振興公社の使命はただ単に農家の補助などにとどまらず、農産物の加工等の研究開発拠点でもある。今までも、アピオスの製品、ジェラード、梅ゼリーなど次々と開発している。

合併当初は、私の記憶では1億円近く借金があったと思うが、毎年約1千万円ずつ返済し、かなり努力してきた。合併後は一度も税金を注入することなくがんばってきた。ここへきて運転資金が2千

融資という形で2千万円を出すと当然借金という負担がかかる。研究開発拠点になっている機関が多額の借金を背負うと、無理な経営、研究の委縮といった悪影響が多々考えられることから賛成する。

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

・予算総額

4億1280万1千円

・補正額

470万9千円増額

主な増額

・広域連合負担金

472万8千円

・補正額

7823万4千円増額

主な増額

・居宅介護サービス給付費

5500万円

・一般会計繰出金

2784万4千円

主な減額

・施設介護サービス給付費

5000万円

・施設維持管理修繕工事

470万円

●簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

・予算総額

1億300万8千円

・補正額

849万円増額

主な増額

・施設維持管理修繕工事

770万2千円

●病院事業会計補正予算(第2号)

○収益的収入

27億1016万9千円

○収益的支出

28億2455万5千円

主な内容

・一般会計からの繰入金

1億2953万4千円増額

・入院収益及び外来収益

1億4335万円減額

・給与費

5887万7千円減額

○資本的収入

2億5376万5千円

○資本的支出

3億931万1千円

主な内容

・固定資産売却代金

4310万3千円増額

146万6千円

古田 陸夫・三浦專治郎
中里公志郎・柏田 雅俊

三浦 俊哉

反対2

川村 浩昭・中川原賢治

賛成多数で原案のとおり可決
議長は採決に加わりません。

一般会計補正予算を除く
補正予算

全員賛成で原案のとおり可決

町以外の規約の変更 2件

●青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更

●青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更

平成25年3月31日で三戸郡町村会館管理組合を解散することに伴い、団体数の減少及び規約の変更について関係地方公共団体と協議が必要となり、議会の議決が必要のため。

●国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

・予算総額

25億9321万7千円

・補正額

1億7365万2千円増額

主な増額

・一般被保険者療養給付費

5061万7千円

・退職被保険者等療養給付費

3590万円

・後期高齢者支援金

3620万2千円

・国民健康保険療養給付費負担金等返還金

3007万5千円

●農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第1号)

・予算総額

1億2116万9千円

・補正額

474万1千円増額

主な増額

・基金積立金

205万3千円増額

審議の結果

一般会計補正予算 賛成15

大沢 博・大久保 均

高山 浩司・根森 隆雄

鈴木 繁盛・川崎 七保

若宮 佳一・尾形 裕之

松山 泰治・沢田 良一

●介護保険特別会計補正予算(第3号)

・予算総額

22億8529万5千円

主な増額

審議の結果

全員賛成で原案のとおり可決

人事 1件

●教育委員会委員の任命

◎高村 昭氏



五戸町大字倉石石沢字高岩

主な職歴

丸運十和田運送株

十和田営業所長

営業課長

営業部長

農業

五戸町教育委員会委員

審議の結果

全員賛成で同意

陳情 4件

●「緊急事態基本法」の早期
制定を求める意見書を国へ

の提出を求める陳情

・総務常任委員会へ付託

総務常任委員会の審査結果

採択すべき

審議の結果

全員賛成で原案のとおり可決

議案案として意見書を提出

●年金2・5%削減中止を求
める意見書の陳情

・民生常任委員会へ付託

民生常任委員会の審査結果

採択すべき

審議の結果

全員賛成で原案のとおり可決

議案案として意見書を提出

●消費税増税の中止を求める
意見書提出の陳情

・総務常任委員会へ付託

総務常任委員会の審査結果

閉会中の継続審査

●生活保護基準の引き下げは
しないことなど国に意見書

提出を求める陳情

・民生常任委員会へ付託

民生常任委員会の審査結果

閉会中の継続審査

一般質問

尾形 裕之 議員



投票所の見直しは

質問

①投票所まで遠い近い、さら
に、選挙人（有権者）の多
い少ないなど多々問題はあ
るが、今一度見直すべきで
はないか。
②期日前投票所を五戸町役場
ではなく、もっと町民が気
楽に行けるところにしては
どうか。

金澤選挙管理委員長答弁

①投票所再編は、投票所まで
の距離の問題や立会人、事
務従事者の問題等を考慮し
つつ、有権者の方々の投票

行為に大きなマイナスを及
ぼさないように慎重に検討
していきたい。

②期日前投票のしやすい場所
とはどういうところを指す
のか分りかねるが、皆様か
ら意見を聞きながら検討し
ていきたい。こちらの問題
についても、立会人、事務
従事者さらにセキュリティ
1等の問題を考慮しながら
進めたい。

産業と文化まつりの 駐車場は

質問

五戸ドームの周りになぜ
お客さんの駐車スペースがな
くなつたのか。今後どうす
るのか。

三浦町長答弁

23年度と今年度は産業振興
部会で話し合い、五戸ドーム
正面側は一般駐車場、倉庫側
は関係者駐車場に変更した。
25年度からは行事内容等を確
認したうえで、駐車場につい
ては来場者を最優先すべきと

五戸総合病院の改善は

質問

本年にコンサルタントが入
ったそうだが、その結果はど
うなつたのか。今後どうして
いくのか。

三浦町長答弁

今回のコンサルタントプロ
グラムは、6月1日から11月
30日までを期間とし、コンサ
ルタントが定期的に当院を訪
問し、医薬品、診療材料など
の材料費、高額医療機器、各
種業務委託契約等について現
状を評価し、取引先企業との
直接交渉の実施、また、全国
同規模病院との比較による価
格の調査のみならず、購買方

法や流通構造にまで踏み込んで課題も分析してもらった。

結果として、適正な購買価格の改善や購買形態の見直し、物品管理や医事請求の質の改善がみられる。今後は、コンサルタント導入により得た経験、知識を担当職員で終わらせることなく、院内全職員が情報を共有し課題をクリアし、新たな視点により経営改善に向け積極的な行動を起こしていかなければならない。

特産品のアピオスについて

質問

①アピオスには血糖値が下がるという効果がある。この特産品であるアピオスを今後どうしていくのか。

②五戸総合病院の経営改善を絡めて、アピオスの血糖値や血圧を下げる効果を利用して、高血糖、高血圧の方の定期的な検診を促し、アピオスの効果を実証し、アピオスの販売と五戸総合病院の経営改善が融合できる

と考えるが、いかがか。

三浦町長答弁

①アピオスはマメ科の植物で、インディアンのスタミナ源と言われるほど栄養価が高い。現在、倉石地域振興公社でアピオス豆腐、アピオスかりん糖、アピオス羊かんが商品化され、また、24年8月には日本で初めてのアピオス入り飲料として「アピオ酢in青森りんご」というりんごジュースを販売している。町としてもできる限りの協力はしていく。

②商品のPRについては制限もあるため、法律の許される範囲でいっぱいっばいのPRはしていきたい。

蝦名総合病院院長答弁

②青森県では自治体病院の業務改善委員会があり、業務改善の事例等の発表がある。これは効果がありそうだといいことであれば、栄養科の業務改善の取り組みの一つとして実施できるか検討し、勉強していきたい。



倉石地域振興公社で販売しているアピオス製品

町の花、木、鳥の活用は

質問

町の花はキク、木はオンコ（イチイ）、赤松、鳥は白鳥ですが、これらはどういう経緯で決定されたのか。今後どのように活用されるのか。

三浦町長答弁

旧五戸町のキクとオンコに、旧倉石村の赤松と白鳥を新たに加えた。

今後は、グリーンツーリズム、タウンツーリズムなどと組み合わせて、文化、景観、観光資源として活用できると期待している。

平成27年度以降の新五戸町総合振興計画は

質問

平成26年度で新五戸町になってからちょうど10年になる。27年度以降の五戸町総合振興計画を策定するためどのように進めていくのか。

三浦町長答弁

本町の目指すべき将来像に向けた総合振興計画については、平成25年度から資料の収集を始め、平成27年3月策定を目標に準備する。

五戸町まちづくり基本条例の住民と行政の協働の精神を尊重し、アンケートの実施やワークショップの開催など住民の意見が十分に反映できる計画にしたい。

ケーブルテレビを民間委託する考えは

質問

ケーブルテレビの運営を民間委託する考えはないのか。

三浦町長答弁

現在、民間委託は行っていないが、議会録画やイベント等において町内のボランティア団体から協力をいただいている。民間委託になると製作金額も高額になることが考えられる。しかし、将来も見据え、委託についても調査、研究、検討をしながらケーブルテレビ事業の充実に努める。

大久保 均 議員



平成25年度予算の基本方針と規模は

質問

①新年度予算編成に町長はどのような基本方針で取り組んでいるのか。
②予算規模は、厳しい経済状

況を反映して町税の落ち込み等、総体的に歳入にはあまり期待できない状況下であると思うが、新年度予算の骨格となる歳入の総額、義務的経費、政策的経費の見込み額は。

③町長の政策の重点事項として予算編成に示される予定の事項として、新五戸町総合振興計画との関係で新規事業はどの程度か。また、町

長が選挙公約として掲げた事業の中で新たに計上する予定の事業等はあるのか。

三浦町長答弁

①町の財政は、財源不足を基金取り崩しで補うという逼迫した状況からは脱したものの、依然として楽観を許さない状況にあると認識している。

このような情勢の中、新年度の予算編成に当たっては、従来と同様新五戸町行財政改革大綱にのっとり、最小の経費で最大の効果を基本とし主要プロジェクトの各種施策を効率的、重点的に実施し、住民と協働で

のまちづくりを積極的に推し進めながら、歳出全般にわたる徹底した見直しを行い、真に必要なニーズにこたえるための予算編成に取り組み、新五戸町総合振興計画の将来像である「みんなで創る、活気あるまち」への実現を目指す。

②前年度予算額と同等程度を見込んでいます。

義務的経費及び政策的経費も前年度予算額と同等程度を見込んでいます。

③県営かんがい排水事業の天満下頭首工は、経年劣化による不具合が多く見られるため、平成25年度から平成28年度までの4カ年間の予定で水利施設整備事業に着手する。

選挙公約等の実現に設定された事項については、基本政策として上げたブドロク放牧場の整備が、今年度で事業完了となり、平成25年度からは夏季放牧とあわせて冬季のキャトルセンターでの預託を実施し、あおり倉石牛の生産基盤を充実させ、ブランド力の強化

と生産拡大に努める。



試験運用を行ったブドロク放牧場

重点施策の安全、安心まちづくりの推進として上げた、県道五戸六戸線番外地部分の改良は、平成25年度は建物除却工事を実施すべく国に採択要望しており、必要経費を計上する。また、県においても町と歩調を合わせ、測量調査設計費の予算要求を行うと伺っている。

県道橋向五戸線上市川歩道の整備は、用地買収を行うっており、完了後は本格的な歩道工事に着手する。橋梁の延命促進については、五戸町橋梁長寿命化修繕計画に基づき、新年度は五戸橋橋梁補修工事と2橋の補修設計業務を計画している。

下水道事業の今後は

質問

①公共下水道の完了予定は平成32年度とのことだが、五戸町下水道事業基本計画に明記されている五戸川左岸地区（蛭川地区から池ノ堂まで）と農業集落排水事業に計画されている越掛沢地区及び浅水川流域地域の着工期及び供用開始はいつごろなのか。

②下水道や農業集落排水処理施設の整備に時間を要するのであれば、汚水処理として身近でかつ比較的安価である合併浄化槽整備を今以上に積極的に推進してはどうか。

三浦町長答弁

①公共下水道は、人口の密集した地域や投資効果の高い地域から順に整備しており、五戸川を越えての汚水処理は橋梁の状況から整備経費や検討課題も多く、また、これからの国の整備方針、採択基準などの改定や国・県、町の財政的状況面からも考えると、今後の整備に20年・30年と計画年次以上の整備年数を要するものと思われる。

越掛沢地区及び浅水川流域の農業集落排水処理施設事業の着手予定時期及び供用開始については、地域の意向がまとまり受益者としての同意が得られた時点から事業要望、事業申請などの手順を経て整備展開していかねばならず、今後

高山浩司議員



の地域の動向を見守っている状況であり、事業着手予定時期及び供用開始については未定である。

②公共下水道計画区域内の未認可区域、整備までに5年から7年程度着手されない区域や、同様な農業集落排水処理施設計画区域においても合併処理浄化槽設置補助を行っている。平成22年度から平成26年度までの5カ年計画を策定し汚水処理施設整備を進めており、合併処理浄化槽設置基数を各年度25基ほど計画しているが、申請基数が計画基数に達していない状況であり、この補助金をぜひ有効に活用していただきたい。

地方分権による影響は

質問

新しい政権がどのような形になっても、地方分権・地域主権の流れは変わらないと思われる。そのような状況の中で、地方公務員の仕事の量は今後増えていくと思うが、町ではどの程度増えると考えているのか。

また、増えた場合の対策は考えてあるのか。

三浦町長答弁

事務権限の移譲がなされた場合、事務量がどの程度増えるかは現在分からないが、増えることは間違いない。五戸町では専門的な分野の職員が少なく、新たに採用するにも限界がある。このため、現在いる若手・中堅職員の資質向上のための研修を充実させていくことが、有効であり重要と考えている。

また、職員の執務体制に支障等を来すことがないように、計画的な定員管理に取り組み、職員の事務量軽減に努めて行

きたい。

職員の人事評価と勤労手当支給の現状は

質問

財政が厳しい中、職員の給与が減額され続けているが、それが行政サービスの質の低下につながってはならない。行政サービスの質を維持し、なおかつ、職員の意識向上を図るためには、適切な人事評価とそれに基づいた勤労手当の支給が必要と思われるが、町の人事評価と勤労手当の支給の現状はどのようなになっているのか。

三浦町長答弁

人事評価については、管理職を対象とした人事評価制度の研修や先進事例の調査等を行ってきたが、評価する側の公正性、公平性、客観性などの難しさ等の課題が、既に導入した市町村で浮き彫りとなり、五戸町では導入に踏み切れていない状態である。しかし、人事評価の仕組みも年々

若宮佳一議員



進歩しているので、優良事例を参考にしながら勤労手当率など給与へ反映できるように、人事評価制度実施に向けて検討して行きたい。

町有林の状況は

質問

①町有林の面積、樹種、樹齡は。
②平成21年から24年度まで町有林の育成に要した経費の推移は。
③今後の育成計画は。

三浦町長答弁

①旧五戸町分が7カ所で82・7ヘクタール、旧倉石村分が7カ所で681・0ヘク

②町有林の育成に要した経費

	21年度	22年度	23年度	24年度
町有林育成事業委託料	698万円	—	752万円	1714万円(予定)
つる払い業務委託料	—	518万円	1260万円	851万円
材の販売収入	784万円	—	773万円	760万円(予定)

21年度は、つる払い業務委託実施のための材積調査業務委託518万円。22年度は、木材の価格が安かったため町有林育成事業は実施せず。つる払い業務委託は、緊急雇用対策事業による全額県補助で実施し、24年度で終了。

タール、新郷村に1カ所で78・6ヘクタールあり、全体で842・3ヘクタールとなっている。樹種は杉、アカマツが主で全体の93%を占めており、ほかにクリ、カラマツ、ケヤキも植林されている。樹齡は10年から70年とさまざまあるが、50年から60年が最も多く全体の31・4%、面積で264・82ヘクタールとなっている。

③木を切り、材として利用するにはまだまだ年数が足りないと考えており、間伐や倒木等の伐採等を中心に実施し、町有林の景観の向上と木の財産的価値を高めていきたいと考えている。

ひばり野公園施設の 利用状況は

質問

①サッカー場が人工芝生化されてからのひばり野公園の施設利用状況は。
②スポーツ振興拠点としての利用促進の方策は。

高橋教育長答弁

①ひばり野公園の体育施設全体の利用者の延べ人数は、今年度11月末現在で、5万3999人、前年度の利用者数5万2806人と比べ1093人、2.7%の増。施設の使用料は、今年度369万円余りに対し前年度172万円余りで、対前年比197万円、114.1%の増であり、特にサッ

カー場の伸びが突出している。

人工芝サッカー場の利用状況は、23年度は工事中であったことから、22年度と比較すると利用者は8021人に対し今年度は2万2421人となり、1万4400人、179%の増となっている。使用料でも22年度と比較して203万円余りと大幅な増となっている。なお、サッカー場の使用料は、24年4月以降改正している。

サッカー場を除く他の施設ではすべて利用者は横ばい、あるいは減っている。使用料も陸上競技場を除いて減額になっている。

②スポーツ振興公社では、サッカー場の人工芝生化に伴いサッカー場利用者の誘致活動を進めてきた。その方策の1つが、サッカー場の利用とスポーツ交流センターの宿泊をパッケージにした割引パックで各種合宿の誘致等を行った結果、利用者が急増した。

その他の施設についても

同様の割引パックを組むことも1つの方策と考えられることから、検討を重ねていくが、スポーツ交流センターの宿泊施設にも限度があり、特に合宿が集中する夏休みや冬休みは現在でも満室状態で、高等学校等の学習のための合宿等を断る状況にある。



ひばり野スポーツ交流センター

現在の施設を町民に利用しやすく魅力ある場になるよう日ごろから管理することとはもちろん必要であるが、最近では近隣の市町村でも立派な施設を整備し、また公式の試合等は最新の設備を

有しているほうへ流れていく傾向がある。したがって、五戸町としても老朽化しつつある各施設について計画的に改修、あるいはリニューアルするなど、さらなる施設や設備の充実を図ることも利用促進の方策の1つと考えられ、町総合計画の中で検討していきたい。

根 森 隆 雄 議員



下水道整備の状況は

質問

①町では下水道を順次整備しているが、最終的にはどの程度行う計画なのか。

また、今後、保守整備に莫大な費用がかかる事が予想されるが財源は大丈夫な

のか。
②下水道整備を抑え、合併処理浄化槽を活用する考えはあるのか。下水道計画を随時見直す必要があると思う。

三浦町長答弁

①五戸町公共下水道事業は、平成5年に計画を策定し、617ヘクタールを整備することとし、15の処理分区分を設け、投資効果の高い地区から優先的に平成7年度から管路工事の整備を進め、平成13年4月から供用を開始している。

人口の減少による見直し、国の採択基準の改定など考えられ、整備手法の変更や事業縮小も検討する時期であると考えている。

また、今後の保守整備等も、長寿命化計画の作成を求められている状況であり、効率的な保守対策を確立し経費削減に努める。
②公共下水道整備を抑制し、合併処理浄化槽の設置により汚水処理水洗化率の向上を図ることも考慮する。

ゴミのポイ捨て対策は

質問

人けの少ないところでは非常に多くの空き缶、ペットボトル、たばこの空箱などが捨てられている。11月初め、夢の森の角から槍沢入り口の交差点まで不燃ごみを拾って歩いたところ、3分の2も行かないうちに燃えないごみ袋（大）がいっぱいになってしまった。さらに、1カ月のうちに新しく30缶以上が捨てられていた。

これは罪悪感もない確信犯であり、対策としては子供のうちからの長期にわたる教育しかないと思う。

そこで、小学校高学年から中学校卒業、できれば高校卒業まで年1回程度のごみ拾い体験をさせるとともに、春のごみなしデーのときは親と一緒に参加するよう指導してはどうか。

ごみを拾って歩いた子供は、ポイ捨てをする大人にはならないと思う。

高橋教育長答弁

町の小・中学校では道徳の時間、委員会活動、JRCの活動等を通じ、生活環境に関する勉強や資源のリサイクル運動等に取り組んでいる。学校の環境保全等の活動としては、校舎内外のごみ拾いや清掃活動などを行っており、ときには親子合同で行うこともある。五戸高等学校では毎年五戸川の清掃活動を行っており、学校では小中高ともに何らかの活動は実施している。

学校では基本的にはごみ拾い体験は賛成であり、危険性のない場所においては体験させることが必要であるということを校長から確認している。

ごみなしデーの行事では親子がマンツーマンで指導に当たれることから実施可能と思われる、時期が近くなったら、ごみなしデーへの参加について各学校を通じて保護者の方々へ親子での参加を呼びかけるよう教育委員会としても働きかけたい。



第9回臨時会

平成24年11月28日に臨時会を開催しました。

町長からの案件として、専決処分承認1件、条例等一部改正4件、工事請負契約の締結1件が提出されました。

町長提出案件

専決処分の承認 1件

- 一般会計補正予算(第4号)・予算総額

101億8910万7千円
主な内容

1842万3千円増額
主な増額

- ・衆議院議員総選挙費(人件費他)

1842万3千円

審議の結果

全員賛成で承認

専決処分の承認とは

議会が議決をしなければならぬ条例・予算などについて、時間的に議会の開催を待てない緊急の場合もあります。そのような時に町長が議会に替わって決断することを専決処分といいます。ただし次の議会で承認を得ないといけません。(専決処分が無効になることはありません。)

全員賛成で原案のとおり可決

工事請負契約の締結 1件

- 五戸小学校体育館改築工事
- ・契約相手方
東北産業・野村組
特定建設工事共同企業体
- ・契約額(税込)
6億7200万円

審議の結果

全員賛成で原案のとおり可決

町条例関係 4件

- 五戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 五戸町町長等の給与に関する条例の一部改正
- 五戸町教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正
- 五戸町職員の給与に関する条例の一部改正

- ・4件すべて期末手当の支給割合を0・1月分減額。

審議の結果

五戸町コミュニティバス 4月1日より運行開始!

町内1乗車

100円

※ただし、中学生以下無料

12月定例会（12/13～18）

議会傍聴者アンケート集計表

1. あなたの性別は。 2. あなたの年齢は。

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
男	1				3	3	7人
女					3		3人

3. 議会の会議を傍聴したことがありますか。

	初めて	1・2回	3～5回	6～10回	11回以上	未回答
人数	6	2	2			

4. 議会広報「このへ議会だより」を発行しましたが、ご覧になりましたか。

- (1) 見ました 9人
(2) まだ、見ていません 0人
(3) 気が付きませんでした 1人
(4) 未回答 0人



5. 議会の日程を何で知りましたか。（複数回答）

- (1) 防災無線 0人
(2) 五戸ちゃんねる（TV） 2人
(3) 五戸町ホームページ 0人
(4) その他 8人（友人、知人など）

6. 五戸町議会あるいは議会広報について、ご意見・ご要望などがありましたら、お書きください。

- ◎議会広報は見やすい。今後も楽しみにしています。
◎メールマガジン、mixiを活用してほしい。
◎また傍聴に来たい。
◎五戸ちゃんねるに議会広報についての解説、見方等案内してほしい。解決したいこと、問題点等住民の要望等をどのように解決したか、未解決事項等知りたい。

議会を傍聴してみませんか！



3月定例会は3月上旬開催予定です。

詳しくは議会事務局まで TEL 6 2 - 2 1 1 1（代表）

日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」、五戸町ホームページでもお知らせします。

議会報告会の結果

3日間、町内9会場で61名が参加

初めての試みということもあり、参加された方々にはご迷惑をおかけした点もあったかと思いますが、今後も、町民の皆さまのご質問・ご意見・ご要望等をお聞きし、町政や議会活動に反映させ、よりよい五戸町を目指していきます。

参加者及び質問、意見・要望等件数

日 程	会 場	参加人数	質 問		意見・要望等		件数合計
			議会へ	町へ	議会へ	町へ	
11月26日(月)	町立公民館	19	3	5	2	2	12
	蛸川公会堂	8	0	3	5	7	15
	豊間内コミュニティセンター	6	1	3	0	1	5
11月27日(火)	切谷内公民館	3	0	1	1	5	7
	浅水活性化センター	6	0	7	2	11	20
	瑞穂館	1	0	1	1	7	9
11月28日(水)	石沢駒踊伝承館	3	0	4	2	3	9
	倉石温泉	8	0	4	3	10	17
	倉石コミュニティセンター	7	0	3	2	9	14
計	9カ所	61	4	31	18	55	108

議会への質問、意見・要望等（抜粋）

Q：議員の政務調査費は。

A：五戸町の議員に政務調査費はありません。

Q：一問一答方式を採用してほしい。

A：平成25年6月定例会から実施できるよう、検討しております。

Q：議会報告会や議会広報などががんばっていると思う。今後も続けてほしい。

A：ありがとうございます。今後も継続していけるよう、がんばります。

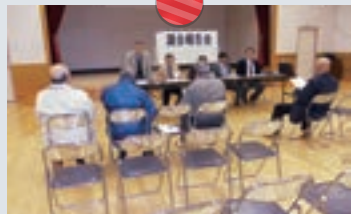
- 今回ご紹介したほかにも多数のご意見をいただきました。ありがとうございました。



今後の対応

- 質問、意見・要望等の詳細は、次号(第7号 平成25年5月発行予定)で報告いたします。
- 議会に対する質問、意見・要望等は、各常任委員会へ振り分けて検討し、政策提言に生かしていきます。
- 町政に関する質問、意見・要望等は、内容を整理のうえ町長へ文書で提出し、結果を議会においても検討し、町政や議会活動へ反映させていただきます。

議会報告会の様子



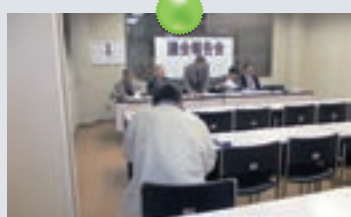
豊間内コミュニティセンター



虻川公会堂



町立公民館



瑞穂館



浅水活性化センター



切谷内公民館



倉石コミュニティセンター



倉石温泉



石沢駒踊伝承館

多数のご参加ありがとうございました。

編集後記

昨年12月に実施された総選挙により政権も交代し、今年こそは地方の景気も好転するものと期待したいものであります。

さて、町議会では、昨年11月下旬に町内9会場において議会報告会を開催しました。初めての試みで期待と不安もありましたが、出席いただいた町民の皆様から、議会並びに町に対し、貴重なご意見、要望、提言等をいただきました。心より感謝申し上げます。

これらのご意見、要望、提言等は、議会及び町において取りまとめ中ですので、次回の「議会だより」にて皆さまにご報告いたしますので、ご期待いただければと思っております。

今年も町民の皆さまに、今まで以上に「議会だより」が愛読いただけるよう、委員一同誠意努力してまいりますので、皆様のご意見を心よりお待ちしております。

委員 鈴木 繁盛

広報常任委員会

委員長	根 森 隆 雄	委員	若 宮 佳 一
副委員長	高 山 浩 司	委員	三 浦 専 治 郎
委員	大 久 保 均	委員	沢 田 良 一
委員	鈴 木 繁 盛		

次回の広報は、平成25年5月発行予定です。